



# 副院長就任のご挨拶

国保依田窪病院 副院長 小澤 昭人

平成23年1月1日付けで国保依田窪病院副院長を拝命いたしました。

早いもので平成15年4月に外科に着任してから8年が経とうとしています。当院の外科は昭和61年に石橋久夫先生が赴任されてから、自治医科大学外科医局の支援も受けながら、石橋先生のご努力により時代の要請に応じて発展してきました。近年、外科を希望する若い医師が減少しており、その確保が大変ですが、なんとかその灯火を消さずに樺をつないでいきたいと思っています。

さて病院は建物や診療器械等のハードがいくら良くても、その内部で働く医師、看護師、検査技師、薬剤師、放射線技師、臨床工学士、理学療法士、作業療法士、栄養士、医事課職員、総務課職員等のすべての職種の人々が力を合わせて能力を発揮しなければ良質かつ安全な医療

## 看護師・保健師募集のお知らせ

### ●地域医療を担う看護師・保健師を募集中！

### ●再就職支援も充実！

子育てなどで看護師の業務にブランクがあり不安がある方、免許はあるけど臨床経験が無い方など、依田窪病院看護部では、再就職を支援する教育プログラムを設け、安心して復職できるように支援しています。

### ●多様な勤務時間体系にも配慮！

働く職員のワークライフバランスを支える多様な勤務体系や職場配置なども考慮し、「夜勤は出来ないけど一日に数時間でも勤務したい」というパートの方も歓迎しています。

### ●中途採用の方の研修充実

年度途中で入職される方対象の研修プログラムを充実させました。安心して勤務していただけるよう多方面から支援いたします。

問合せ 総務：武重 0268(68)0036

将武田信玄が、人は石垣、人は城と歌い、形としての城よりも中にある人間の重要性を説いています。まさしくその通りだと思えます。

私の出身地、甲斐の国の武

医師や看護師不足等もあり、大変なことも多いと思いますが、三澤院長をサポートし、発展、改善を続ける病院づくりを目指して頑張りたいと思います。

を提供することは出来ません。日本各地で人手不足等により地域医療の崩壊を耳にしますが、すべての人材が宝であると実感しています。

## ◇病院の実情をシリーズでお知らせいたします。

### ○第2回は、「地域の医療を守るための医師確保」について

#### 【総合医・家庭医の進出】

かつて、わが国の「地域医療」においては、医師が一人で「何でも診る」ということで通用していましたが、医学の進歩に伴う細分化で「診療科目の専門分化」が進みました。しかし、こうした専門分化による弊害も目立ちはじめ、大きく見直されようとしています。

地域医療を実践する地方の中小公立病院にとっては、医師確保という面で非常に影響の大きい「新臨床研修医制度」ですが、大都市ではなくても、厚生連佐久総合病院や茅野市諏訪中央病院のような、地域医療に関して多くの実績を持つ「研修指定病院」にも臨床研修を希望する若い医師が集まっています。こうした病院でプライマリーケアを学び、「総合医・家庭医」(疾患などを問わず、幅広く診断と治療を行う医師)として地域医療に携ることを志す医師も増えています。当院のような地方の中小公立病院にとっても、地域医療を目指すこのような医師に来てもらえることが明るい材料となり得ます。

#### 【病院勤務医の実情】

公立病院の中でも、200床未満というような中小病院では、特に「勤務医は激務である」という状況が続いています。現在問題になっている小児救急医療では、24時間365日の受入れ体制を実施するには、1施設11名の小児科医が必要ともいわれています。

当院の状況はというと、整形外科は7名ですが、現在の患者数からするとまだ不足しています。内科系は4名、外科系は3名、小児科、麻酔科、泌尿器科はそれぞれ1名の専門科医師が担当しています。外来診察だけでなく、入院患者さんの回診や、手術もあります。また、日当直は、月2～3回(急患の多いときは36時間勤務を強いられることもあります)、休日・夜間の拘束当番は、多い時で2日に1回行わなければならないかもしれません。さらに、日当直(休日・夜間)の時間帯は、一人の医師が「専門外」の様々な症状の患者さんを診察しなければならないという実情です。

#### 【地域の医療を支えるために】

地方の中小公立病院が医師確保を図っていく上で、厳しい勤務に携わる医師にこの地域に定住していただくためには、技術の向上を図れるような環境づくりも必要となります。しかし、何よりも大切なことは、上述したように「勤務医は激務である」ということをまず皆さんに理解していただくことだと思います。医師は、このような激務を崇高なる使命感で支えているということを地域全体として理解し合い、地域全体として医師を支えていくということが大切であり、患者、住民、病院が一体となって、医療を育む地域づくりを行っていくことが重要だと思います。

#### 【おわりに】

当院では、医師確保が最優先課題と位置づけ、三澤院長の指揮の下、羽田組合長(長和町長)・母袋副組合長(上田市市長)の全面的な支援を受け、2008年より医師確保対策に取り組んでおります。これまでに30人余の医師と面談をし、常勤医師として小児科森澤医師(北海道)、和田診療所飯島医師(東京)、総合診療科小河原医師(静岡)、泌尿器科喜連医師(群馬)、一般外科太白医師(自治医大医局)に赴任していただきました。また、昨年6月からは諏訪中央病院より家庭医・後期研修医を派遣いただき、2ヶ月交代で勤務いただいています。確保活動の結果、全体医師数は、一時期よりは増加していますが、特に地域医療の根幹をなす内科系医師や一般外科系医師の不足は、当院の運営にとって一段と厳しい状況となっており更なる医師確保対策が必要な状況です。引き続き、組織を上げて取り組んでまいります。患者、住民の皆様には勤務医の過重労働をご理解いただき、暖かく見守っていただくとともに、病院サポート(民間ボランティア等)による、「医師が来てくれる地域づくり」に積極的にご参加いただけますようお願いいたします。

・次回のシリーズ3回目は、「看護師不足」を掲載する予定です。

## ◇子宮頸がん予防ワクチン

### ○子宮頸がんとは？

子宮頸がんは、子宮頸部(子宮の入り口)にできる女性特有のがんで、その発症は20～30代で急増しています。日本では年間約15,000人の女性が発症し、ほとんどの子宮頸がんは性交渉によるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因となっており、がん発症の予防には子宮がん検診の定期的な受診に加えて、子宮頸がん予防ワクチンの接種を行うことが効果的と言われています。

### ○接種対象者、接種回数

10歳以上の女性が接種対象者です。

通常、初回、初回より1ヵ月後、6ヵ月後の計3回、上腕三角筋部に筋肉内接種します。

### ○接種費用

1回につき15,500円ですが、一定の条件を満たす方は助成対象になります。詳しくはお住まいの各市町村窓口へお問い合わせください。

当院で接種希望の方は予約が必要となりますので、午後2時～5時(病院休診日を除く)の間にご連絡ください。

尚、子宮頸がん予防ワクチンの接種はご本人の希望により行う任意のものです。

## ◇第26回 院内研究発表会について

毎年恒例の第26回院内研究発表会が2月21日(月)に開催され、9部署からの発表がありました。各部署ともテーマを決めて積極的に参加し、日頃の研究成果を発表しました。発表部署とテーマは下記のとおりです。



院内研究発表会

部 署	テ ー マ
四階病棟	胸椎損傷患者のセルフケア援助 ～自己導尿自立への自己の関わり～
薬剤科	バンコマイシンTDMの実際
放射線科	ポータブル撮影における散乱線被曝低減の有効性について
栄養科	つまようじ食を提供して
健康管理センター	当院における職員の労働安全衛生体制の確立
検査科	血清カリウム偽高値に関する検討
医事課	3階病棟における入院料
3階病棟	亜急性期病棟での退院支援 ～退院後の生活に寄り添った家庭支援～
リハビリテーション科	人工股関節全置換術前後における重心動揺の変化と在院日数の関係

## ◇「医療相談窓口」「医療安全相談窓口」について

当院では、医療・介護などに関するご相談・ご提案・ご苦情・お問合せ等をお受けする、「医療相談窓口」「医療安全相談窓口」を設置しております。ご相談等おありの方は、「受付」にお申し出下さい。内容により、ソーシャルワーカー、診療情報課職員、医療安全管理者等の担当職員が対応・支援させていただきます。プライバシー・個人情報には充分注意して対応させていただきます。また、お申し出により不利益を受ける事はありませんので、安心してお申し出下さい。

# 外 来 診 療 担 当 医 表

桃字は予約のみです。 ■ は休診です。

2011年2月更新

診療科	火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科	小河原	小河原	門倉	小河原	門倉	小河原	小河原	門倉	小河原	
内科	今井 信大 竹中 (循環器)	今井	越知 今井 信大	白川 (2・4週)	今井 竹中 (循環器) 白川 (消化器)	白川	信大 竹中 (循環器) 白川 (消化器)	今井	越知 今井 信大 (循環器) 門倉	今井
外科	石橋 太白	石橋	小澤		小澤		小澤		小澤 太白	石橋
整形外科	堤本 太田 水谷 塩澤 由井 二木		堤本 二木 三澤 太田 滝沢 吉村 (2・4・5週)		太田 水谷 ※1 交代制		由井 荻原 三澤 堤本 太田 水谷		滝沢 信大 信大 三澤 堤本 由井 二木	吉村 (3週)
小児科	森澤	森澤	森澤	森澤	森澤	森澤	森澤	森澤	信大	森澤
泌尿器科	喜連		喜連		喜連		喜連			
眼科	信大				信大		信大		信大	
耳鼻咽喉科									信大	
皮膚科			宇原				信大			
呼吸器科				信大						
脳外科								信大		
神経膠原病内科		進藤						高 (月3回)		
高齢者総合外来									石橋	
肝臓外来							今井			

## 附属和田診療所

	火	水	木	金	土
担当医師	飯島	飯島	飯島	石橋	飯島

午前受付時間：8：00～11：30

午後受付時間：総合診療科：14：00～16：00

小児科：15：00～16：30

脳外科：13：30～14：30

休診日：日曜日、月曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）、1月15日

※1：当院医師1名が交代で診療にあたります。

◆ 予約の変更については、14時～17時をお願い致します。

◆ 毎月1度は保険証等（原本）の提示をお願い致します。3ヶ月以上確認できない場合全額自己負担していただく場合がございます。

国保依田窪病院 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町2857 TEL 0268(68)2036 FAX 0268(68)4034  
 発行 国保依田窪病院 印刷 株式会社アオヤギ印刷